

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	コロナ禍における在日ムスリム緊急支援事業
資金分配団体名:	認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会
実行団体名:	特定非営利活動法人 Accept International
実施時期:	2021年7月～2022年2月
事業対象地域:	東京・埼玉・愛知・神奈川
事業対象者:	在日イスラム教徒を中心とする在日外国人

Version 3.2
日付: 2022/2/25

I. 事業概要

事業実施概要	本事業では、イスラム教徒を中心とする在日外国人に対して①ポータルサイトでの情報提供・更新を行うこと、②オンラインや電話での相談窓口を設けて駆け込み寺としての役割を果たすこと、③ハラール対応のフードバンクを実施すること、④通訳兼相談員として在日イスラム教徒を雇用し、母国コミュニティへの知見の還元につなげることを、の4つを行います。これらを通じて、コロナ禍で困窮しているイスラム教徒を中心とする在日外国人に、情報・相談相手・食料を提供すると共にそれぞれの母国コミュニティでの共助の中心となる人材の育成、彼らのセーフティネットとして包括的に支援の網を構築することを目指します。
--------	--

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>課題設定</p> <p>当初設定していた課題は、在日イスラム教徒を中心とする在日外国人の情報格差です。また、既存事業を拡充する形として、宗教上の制限に配慮した食料支援と通訳兼相談員の育成に取り組みました。日々刻々と変わる新型コロナウイルス感染症の感染者数の増減とそれに伴う企業・政府・民間支援団体の対応は、在日外国人には正確に情報を追っていくには難しく、また長期化による影響も受けていました。事業期間（8カ月）では、累計382名の相談が寄せられました。想定よりフィリピン人からの相談が急増し、その対応に追われることが多くなりました。また、感染者の増減に合わせて相談数も増減する傾向が見られました。</p> <p>プロセスの変化</p> <p>相談者数の増加を踏まえて、英語対応のできるボランティアやアルバイトなどの人員を増やす対応を行った。通訳4名に加えて、社労士の資格を持った日本人、英語・トルコ語・中国語対応できるウイグル人、英語ネイティブレベルの日本人などを加えた。</p>
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
外国人・外国にルーツを持つ人	相談先の不足	A. 対象者が必要な情報を獲得できる状態	A①ポータルサイトアクセス数 A②ポータルサイトの更新と機能拡充 A③モスク訪問等におけるチラシ配布	A①: 3000アクセス A②: 情報の定期的に更新されている状態 A③: チラシ2500枚配布	A①: 8835アクセス A②: newsや活動報告、ページ更新などを行った A③: チラシ500枚配布	口コミ、web検索からの流入により相談者数が急増した。また、それに伴い広報活動を抑えました。
外国人・外国にルーツを持つ人	相談先の不足	B. 対象者が駆け込み寺を利用し生活の再建を目指していける状態	B①窓口に来た相談者数 B②相談者の問題が解決された数	B①: 50件 B②: 30件	B①: 382件 B②: 301件	フィリピン人からの相談が3割程度を占めました。相談件数も増えましたが、途中でロストしてしまう人も多くなりました。
外国人・外国にルーツを持つ人	食料関連の不足	C. 特に困窮している世帯に、ハラール対応の食料が提供されている状態	C①食料支援が提供された世帯数	C①: 50名	C①: 80名	食料支援のニーズが高く、モスク等を拠点として食料の配布を行いました。
その他	その他	D. 在日イスラム教徒4名が、通訳・相談業務での経験を積み、母国コミュニティに知見を還元できる状態	D①通訳・相談の実績数 D②事業終了後のキャリア・活動計画書	D①: 15件以上 D②: 母国コミュニティで知見の還元を行える状態	D①: 37件 D②: 各自のモスクでの相談対応などを行った	日本人相談員がサポートに入り、政府の経済支援の手続きなどを主に行った。今後、団体として継続的に雇用するか現在検討中です。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	<p>①対象者が必要な情報を自ら獲得できる状態</p> <p>②対象者が駆け込み寺を利用し孤立していない状態、且つ支援を受ける事で生活の再建を目指していける状態</p> <p>③対象者の中でも特に生活が困窮している人々が、安心して食べられる食料支援を受けられている状態</p> <p>④通訳兼相談員として雇用される在日イスラム教徒が自立し、且つ自らの母国のコミュニティに活動を通じて得た知見や経験を還元し、コミュニティ内での共助が高まる状態</p>
考察等	対象者へのリーチに関しては、想定していた以上のHPへのアクセス・相談件数となり、①②の目標を達成できたと考えます。ただ、コロナ禍の長期化により失業状態や不安定な雇用状態が続いている相談者も少なくなく、生活の再建の目途が立っていないと言え難いです。③については、目標以上の世帯数にハラール対応の食料を提供できました。ただ、定期的な支援ではないため、今後食料供給の安定を図る必要があります。

V. 活動

活動	進捗	概要
1. 新型コロナウイルス感染症に対応し	計画通り	利用者: イスラム教徒を中心とする在日外国人8835アクセス
2. 窓口にお問い合わせに来た方への相	計画通り	場所: オンライン、東京・埼玉・愛知・神奈川の各所、当法人事務所
3. ハラール対応の食糧支援	ほぼ計画通り	場所: 東京都八王子市、千葉県千葉市、その他首都圏
4. 通訳兼相談者の雇用・教育	ほぼ計画通り	場所: オンライン、東京・埼玉・愛知・神奈川の各所、当法人事務所

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	<p>広報活動について、フィリピン人からの相談件数が想定外に増加しました。相談者に何うとコロナのサポートに関して検索すると、本事業のページが上位にヒットするそうです。また、そこからの口コミ等で相談者数が増加したと考えられます。</p> <p>相談者の中でも難民申請者のケースが10件程度あり、政府の行う支援の枠に入らず、就労もできないといった状態であり、対応に困っています。他の難民支援を行う団体等に意見を聞いたり、その紹介等も行いますが、中々課題解決には繋がりません。引き続き、当法人としての対応を模索していきます。</p>
---------------------	---

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	<p>コロナ禍の長期化により、困窮世帯の状況は改善されていない状況が続いています。また、モスクの中でも金曜礼拝を再開しているモスクとそうでないモスクに分かれ、地域によっても孤立化の状況等に差が出てきています。困窮している世帯への食料の保障とアウトリーチを兼ねて、今後は隔週での食料配布を行う予定です。海外事業の活動の関係で繋がっていた方から、一般社団法人チョイふるを紹介していただき、一般社団法人チョイふるが利用している株式会社オイシックスの食料寄附を、当法人も3月から活用させていただける運びとなりました。また、難民支援に関しても、難民支援を専門としている弁護士の方に顧問弁護士として事業に携わっていただく予定です。</p>
-----------	---

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
八王子モスク	広報活動、食料配布への協力
千葉イスラム文化センター	広報活動、食料配布への協力
SMILALL	ポータルサイト保守・改善
一般社団法人チョイふる	食料配布の運営、オペレーションの参考、寄付先の紹介

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	3,181,012	3,181,012	100.0%
	管理的経費	612,676	612,676	100.0%
合計		3,793,688	3,793,688	100.0%
補足説明				

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	フューチャーランナーズ（フジテレビ・BSフジ）4月頃放送予定
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	
4.報告書等	

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	整備中	コンプライアンス規定、文書管理規定、リスク管理規定、事務局規定が未整備。理由としては、担当者の稼働が間に合っていないため。
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		倫理規定（利益相反防止、情報公開についてを含む）、内部通報制度の整備とWEBページへの公開がなされた
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	全て公開した	未整備のものは未公開。完了報告までには未整備のものも含めてすべて公開する予定。
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	いいえ	未整備のため、現状未設置。
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合含む）（複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/>	外部監査
	<input type="checkbox"/>	内部監査
	<input type="checkbox"/>	実施予定はない
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	